

制震工事標準装備

■地震の揺れを最大80%低減

兵庫県南部地震を何度も与えた実物大振動実験に於いて、スマート制震を使用すれば、住宅の揺れ(層間変位)を最大80%低減できることを確認しています。
これは、制震材を全体にバランス良く配置し、住宅まるごとダンパーにしているからこそ為せる業です。

桧4寸+構造壁+制震材

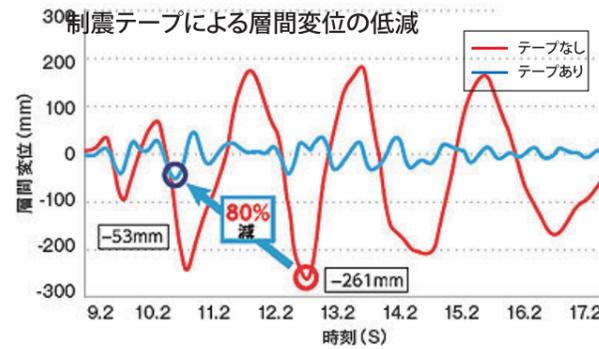
■高層ビルの制震装置を木造住宅へ

大きな地震が何度も起こると、どんなに耐震性を高めた家でも度重なる揺れや経年変化で、建物自体が揺れやすくなっていきます。

「スマート制震工法」は、高層ビルの制震装置に用いられる粘弾性体を木造住宅用として両面テープ状に加工し、建物全体に貼り付けダンパー化したもので、110年以上の高い耐久性を有しています。地震エネルギーを吸収し、建物へのダメージを大幅に低減します。

耐震等級3の当社の強靱な桧の構造体に「制震材」をプラスすることで、さらに地震に強い家になります。

1階だけでなく、強い地震力が加わる2階・3階まで施工するので地震の力が集中せず、柱や壁、壁材にも負担をかけません。



新商品

遊和

- y u w a -

現代の暮らしかたに合わせた古き良き佇まい



スマート制震
(1棟まるごとダンパー)

家まるごとダンパー

1000m以上を分散配置
(延床40坪の場合)

地震の揺れを家がやさしく受け止めます

家全体を包むので
巨大な地震力に対しても**粘り強い!**

粘弾性体をテープ状にして、家全体に貼り付けて使用するので、地震の力が集中せず、柱や壁材にも負担をかけません。

■集成材を使わない理由

集成材とは、多数の板材・角材を接着面で接合して作った木材のことです。接着剤の力で固められ強度を増しているため、通常の木材に比べると狂いが少ないのは確実です。しかし問題はその強さがいつまで持つかが重要です。集成材のほとんどはホワイトウッドという北欧産の木です。湿気がなくシロアリが生息しない土地で育った木なので虫害や腐朽菌に対する抵抗力が極端に低く、高温多湿の日本で長持ちするかは疑問です。



遊和

-yuwa-

和の住まいを現代の暮らしかたにアレンジした新しいスタイル。
和の空間の心地よさ、温もりを大切にした『遊和』、
古き良き日本の住まいを感じさせます。

- Color Variations -

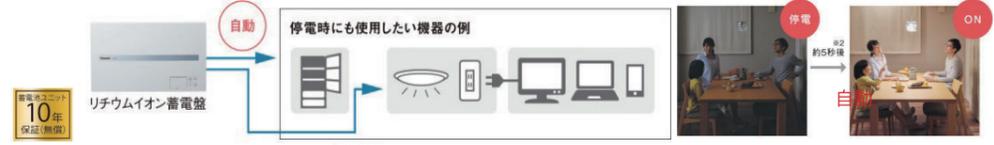


安心
快適
標準
装備

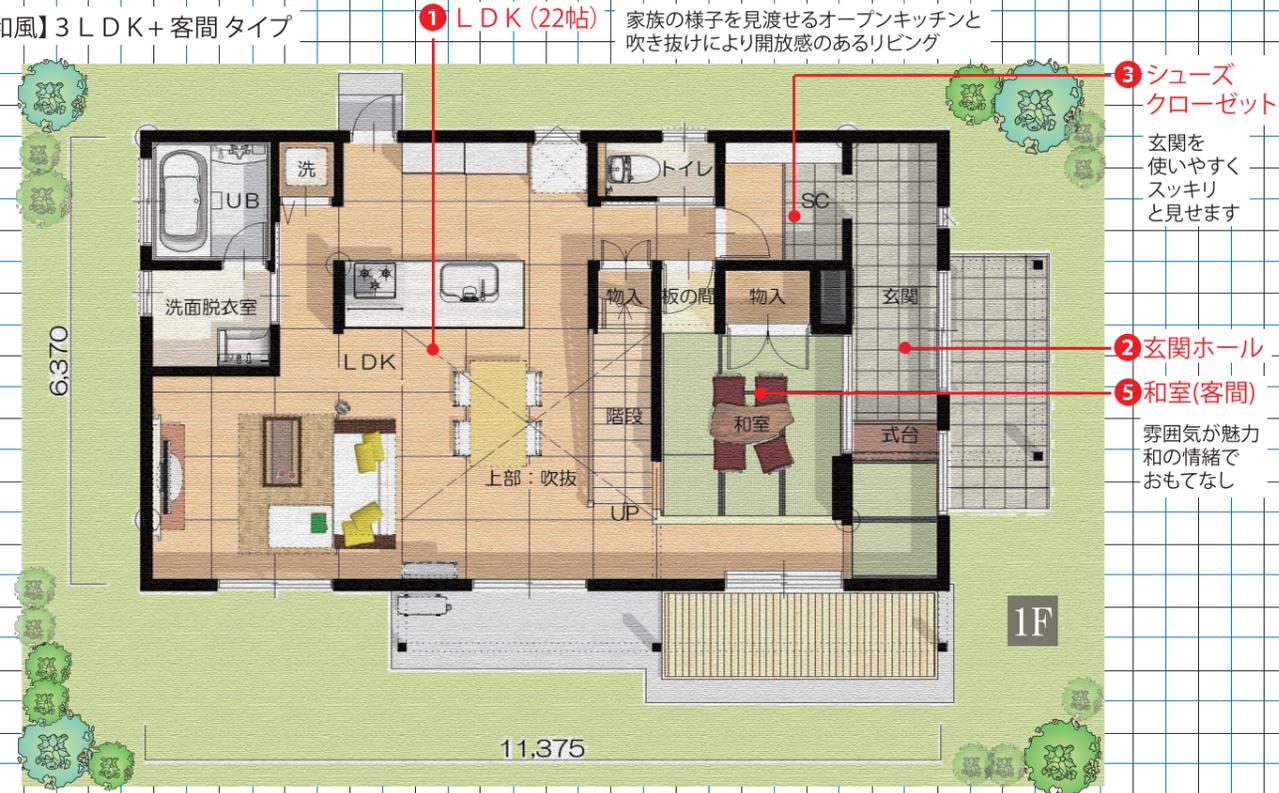
- ① 国産松 の構造体
- ② スマート制震 工法
- ③ 高級家具にも使われるチークの床材
- ④ 快適設備 IH・エコキュート・食器洗機・カップボード
- ⑤ 停電時も安心の蓄電池



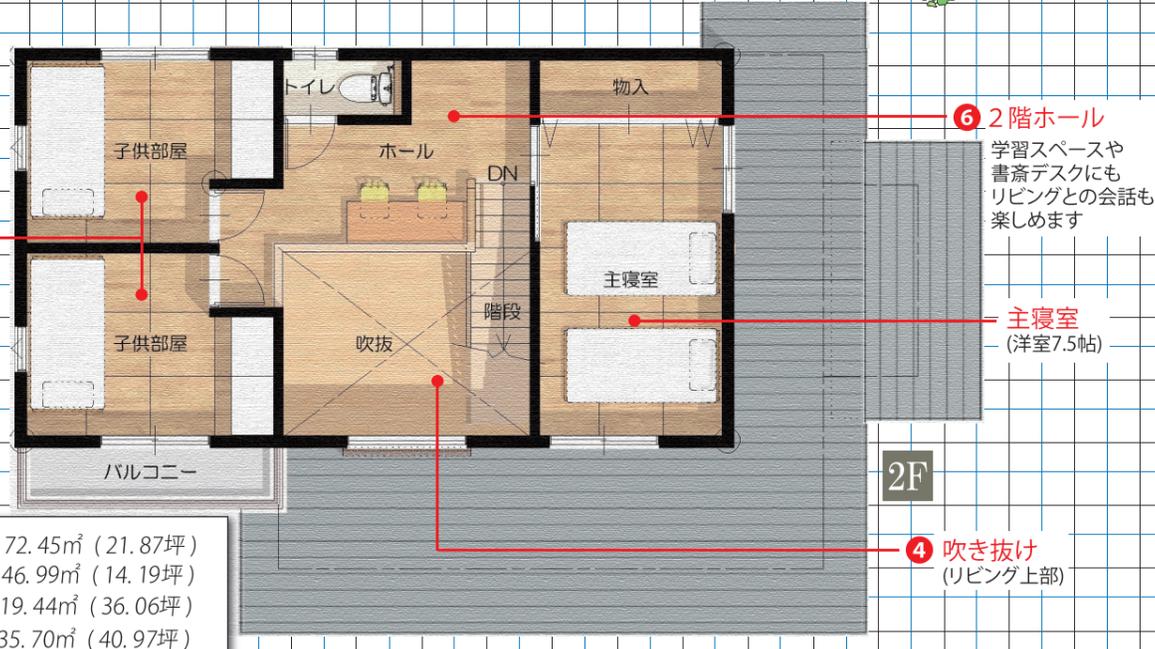
停電時：自動的に電気を供給



【現代和風】3LDK+客間タイプ



子供部屋
(洋室5.5帖)×2



1階床面積	72.45㎡ (21.87坪)
2階床面積	46.99㎡ (14.19坪)
延床面積	119.44㎡ (36.06坪)
施工面積	135.70㎡ (40.97坪)

